

## 組織概要：

### ● 沿革

1981年11月、石油のほぼ全量を輸入に依存する日本にとって重要な産油国との友好関係維持を目的に設立。2001年4月、石油I礼ギ-技術センター(JPEC)の基盤整備事業を継承。2011年3月、一般財団法人へ移行。

### ● 組織目標

産油国の石油・天然ガスのダウンストリーム分野における技術や経営管理の向上に対する協力、並びに各国と日本との石油関係者相互の交流を行うことにより、友好関係の増進を図ることで我が国の石油・天然ガスの安定供給の確保に貢献する。

### ● 活動概要

- 1.人材育成事業：研修生受入・専門家派遣・研究者交流
- 2.技術協力（基盤整備）事業：基礎調査・支援化確認・共同事業
- 3.連携促進事業：国際シンポジウム・合同シンポジウム・同窓会等の開催、広報

### ● 重点対象国・地域

中東など産油・産ガス国、我が国元売り等が海外展開を期待するアジア各国 等

設立：1981年11月26日

理事長：鈴木 康公

所在地：東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシャイン60ビル58階

参考URL：<https://www.jccp.or.jp>

# 1. 人材育成事業

## 事業概要

- 1981年11月設立以来、産油・産ガス国と日本との人および技術の交流を通じて友好関係を増進し、我が国の石油安定供給確保に貢献することを目的に、我が国石油産業などの蓄積した石油・天然ガスのダウンストリーム分野の技術・知識・経験を基に各国の石油関連政府機関・企業の人材育成等を支援し協力する事業。
- 提供する事業は、研修生受入・専門家派遣・研究者交流。

### ■研修生受入事業

産油・産ガス国の石油関連企業等の経営者・スタッフなどの人材育成等に協力するため3つの研修プログラムを実施  
延べ58ヶ国から合計 25,905名の受入 (2021年3月末時点)

#### ●年間合計約65コースの研修プログラム

- レギュラー研修：複数国から受講者が参加。年間22コース。  
プログラムの例＝戦略・技術マネジメント、設備保全、計装・制御、環境・安全、カーボンサイクル、LNG、石油製品物流、人的資源管理等  
・期間：2週間～3週間／コース  
・参加人数：10～15名／コース  
・開催場所：JCCP本部及び日本各地の石油関連施設
- カスタマイズド研修：対象国の課題・ニーズに対応。年間約13コース  
プログラムの例＝安全保全セミナー(カタール)、女性活躍(UAEを中心としたGCC諸国) 他  
・期間、参加人数及び開催場所等は要望を踏まえて個々に計画
- 企業協力研修：各国ニーズと日本企業の要望に対応。年間約30コース  
プログラムの例＝UAEなど中東各国との関係強化のために活用  
・期間、参加人数及び開催場所は各日本企業と個別に協議

○各研修目的に沿った教材開発や研修高度化の取組みを合わせて実施



体験研修：JCCP本部にてシミュレータ装置の使用風景



実地研修：製油所等の視察訪問風景

### ■専門家派遣事業

産油・産ガス国の石油関連企業等が抱える個々の課題の解決やニーズに対応する支援を行うため2つの専門家派遣を実施  
延べ49ヶ国へ合計5,692名の専門家派遣 (2021年3月末時点)

#### ●年間合計約60名の専門家派遣

- 直轄派遣：各国の要請に合致したJCCP職員や企業技術者等を派遣  
プログラムの例＝定期保全ベストプラクティス(サウジアラビア) 他  
・期間、派遣人数などは各相手先と協議して決定
- 企業協力派遣：各国ニーズと日本企業の要望に対応した技術者等の派遣  
プログラムの例＝製油所の運転改善(オマーン) 他  
・期間、派遣人数および回数などは各相手先と日本企業の協議を行った上でJCCPが決定



専門家派遣による現場指導風景

### ■研究者交流事業

産油・産ガス国の石油関連機関等の要請により日本と各国の研究者同士の受入・派遣を行い、将来の先端技術開発等に繋がる交流を支援。これまでサウジアラビア、クウェートに合計36名派遣。サウジ/クウェート/ベトナム等7ヶ国から合計155名受入 (2021年3月末時点)

- 派遣の例：北大(サウジ(KFUPM/KAUST)、日揮触媒(クウェート(KISR))
  - 受入の例：KISR(横国大等)、VPI(ベトナム石油研究所)早大('20fy:オンライン)
- 本事業は、公益社団法人石油学会の協力を得て実施

担当部署：研究生受入事業・専門家派遣事業＝人材業務推進部 (03-5396-6001) / 参考URL <https://www.jccp.or.jp/training/>  
研究者交流事業＝技術協力部 (03-5396-8021) / 参考URL：<https://www.jccp.or.jp/technical/>

## 2. 技術協力（基盤整備）事業

### 事業概要

- 産油・産ガス国のニーズに応じて、石油・ガス産業のダウンストリーム部門における精製施設の操業改善・高度化、環境・安全対策等への対応能力向上に資する日本の優れた技術移転等によって具体的に問題の解決を行い、我が国の石油安定供給の確保に貢献するとともに、将来、日本企業の海外展開につながる取組み。
- 提供する事業は、段階的に基礎調査・支援化確認・共同事業の3ステップで展開。

- 各産油・産ガス国の延べ23ヶ国・地域において事業を実施
  - 事業全体で合計263件を実施（2021年3月末時点）
  - 年間約35件：産油・産ガス国との共同プロジェクト等を実施

- ◆ 基礎調査事業：5件程度／年  
現地出張を行い精製設備等の顕在した実態や潜在的な問題の把握と取組むべき課題の抽出により次段階：支援化確認事業への可否検討を実施。  
※LNG関連案件などは「アジア等海外展開支援」として実施。
  - ・ 出張期間：1週間程度＝年1回／件
  - ・ 参加人数：2～5名程度／回
- ◆ 支援化確認事業：10件程度／年  
基礎調査等により選定した事業・課題について、事業の達成目標、対象範囲、組織体制及びスケジュール等をJCCPと日本企業等及び相手国企業等の三者協力による検討で次段階：共同事業への可否判断を実施。  
※将来ビジネス展開が見込める案件は「アジア等海外展開支援」として実施。
  - ・ 期間：1年間を通じて複数回の現地出張と取得情報の分析他
  - ・ 参加人数：3～10名程度／年
- ◆ 共同事業：20件程度／年  
支援化確認調査等の結果から形成された案件のうち対象国の石油等関連の環境基盤整備に資するものについてJCCPと相手側と共同事業実施契約（MOA）を締結し、日本企業の協力を得て課題等の解決に取組む。
  - ・ 期間：2～3年間／件
  - ・ 参加人数：3～10名程度／年

### <共同事業の例1> アラブ首長国連邦（UAE） 国営石油精製会社リサーチ・センター（ARRC：旧TRC）運営の支援

- 事業期間：2006年度～
- 事業総額：8.7億円
- カウンターパート：ADNOC Refining社
- 事業内容：ADNOC Refiningは自社の技術水準向上等を目的にリサーチセンター（ARRC）を設立。'06～'15年度の10年間にわたり支援し、現場密着型の技術センターとして基盤を確立。'16年度～は、ARRCとJCCP/出光が共同で様々な課題を解決しADNOC Refiningの経営に実質的な貢献を果たすことを目的に支援を継続中。

ARRCワークショップ出席者との集合写真



### <共同事業の例2> サウジアラビア プロセス開発→ビジネス化（商業化）への協力

HS-FCC（高過酷度流動接触分解）は、重質油を分解し、石油化学原料として付加価値の高いプロピレン、ブチレンなどのライトオレフィン類を効率良く生産する次世代型（石化型）プロセスであり、現在、脚光を浴びている。本プロセスはJCCPとサウジアラビア（KFUPM、サウジアラムコ）との共同研究によってその基礎を確立し、その後、経済産業省の支援のもとセミ商業化の検討がなされ、2011年4月～当時のJXエネルギー水島製油所にて重質油処理量3,000B/Dのセミ商業化装置の実証運転を経て、サウジアラムコ主導で韓国（蔚山市）S-Oil社の製油所にて76,600B/Dの商業機が設置され、2018年より稼働を開始している。



担当部署：技術協力部（03-5396-8021）  
参考URL：<https://www.jccp.or.jp/technical/>



# 3. 連携促進事業

## 事業概要

- 産油・産ガス国に対する人材育成・技術協力などJCCP事業の取組みを国際シンポジウムの開催などによって情報の提供や交流で補完することで、各国との一層の信頼関係の強化と緊密化をもたらす取組み。
- 提供する事業は、国際シンポジウムなど各種国際会議開催や事業の評価・成果報告などによる広報活動。



2021年1月28日  
第39回国際シンポジウム風景  
(オンライン開催)

### 「国際シンポジウム」(日本開催)

JCCP設立以来、毎年1回、産油・産ガス国の政府関係機関・国営石油会社などから経営者等の幹部を招へいし、日本の石油関係企業幹部等とともに講演及び各リーダー同士間による意見交換等を通じて、我が国の石油・天然ガス供給安定化に向け協力して取り組むべき課題等を明らかにするほか情報共有を行う。これまでに39回開催

- ・参加各国の最新情報・状況を一早く把握できる機会
- ・日本が有する先進技術や研究成果等を広く内外に発信する場
- ・参加各国の招へい者と我が国石油関連機関・企業関係者との交流の機会



2019年11月3-4日  
第29回日サ合同シンポ(サウジアラビア)風景

### 「テーマ別合同シンポジウム」(海外/日本開催)

産油・産ガス国の政府関係機関・国営石油会社、大学又は研究機関等と我が国の間で、相手各国が要望する特定のテーマに関する合同シンポジウム又はコンファレンス等を開催。

- ・日本サウジアラビア(日サ)合同シンポ：年1回、石油・石化分野における新技術等の研究発表(29回開催)
- ・日本クウェート(日ク)合同シンポ：隔年1回、石油分野における新技術等の研究発表(19回開催)
- ・OPECコンファレンス：隔年1回、石油ダウンストリーム分野の効率化等に関する研究発表(5回開催)
- ・JCCP-サウジアラビア共催シンポ：年1回、気候変動対応や製油所の将来像など関心のテーマで開催@東京(3回開催)



2017年10月8日  
産油国ネットワーク会議  
(UAEアブダビ)風景

### 「産油国ネットワーク会議(同窓会)」

JCCPの人材育成事業・技術協力事業で培った各産油・産ガス国人脈を一層強化するため、研修卒業生・事業関係者やその所属組織幹部等との意見交換・交流を通じて日本理解者(親日派)の拡大を図る機会。

(以下はこれまでの実績)

- 2012年11月・UAE / 2014年 3月・サウジアラビア
- 2015年 1月・UAE / 2015年10月・クウェート
- 2017年10月・UAE

### FCW(女性のキャリア開発に向けた友好委員会)フォーラム

UAEを中心にGCC諸国石油関連会社の女性社員を対象にした研修(リーダーシップ等)の一環として日本の石油関連会社及びエンジニアリング会社の女性社員等との意見交換や成果報告(フォーラム開催)を実施

- ・年2回(春:UAE/秋:日本)開催
- ・2015年5月：第1回をUAEにて開催以降これまでに12回開催

2020年11月18日  
第12回FCWフォーラム風景  
(オンライン開催)



担当部署：地域別事業・プロジェクト総合推進部/広報・女性・ダイバーシティ・CSR部(03-5396-6000 共通)

参考URL：<https://www.jccp.or.jp/international/>